

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2019年 4～6月期の景況 / 2019年 7～9月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況は、回復傾向から足踏みしている。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATE参照)の景況動向等を把握するため、2019年4～6月期の実績と2019年7～9月期の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から1.9%の悪化となった。業種別では、建設業が15.4%から0%とへと大幅にマイナスとなり、小売業は、▲11.1%から▲15.8%へと悪化した。製造業においては▲26.3%から▲25.0%、卸売業が▲5.6%から▲5.3%へ、サービス業が▲20.8%から▲13.0%へと若干回復したものの、依然としてマイナスの値のままという結果になった。

来期の新規設備投資については、今期よりも▲12.3%減少する見込みとなった。

経営上の問題点については、2業種で「従業員の確保難」(建設業は12期連続、卸売業は7期連続)が上位を占めた。さらに、製造業は「需要の停滞」、小売業は「消費者ニーズの変化への対応」、サービス業では「人件費以外の費用の増加」が新たに上位となった。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

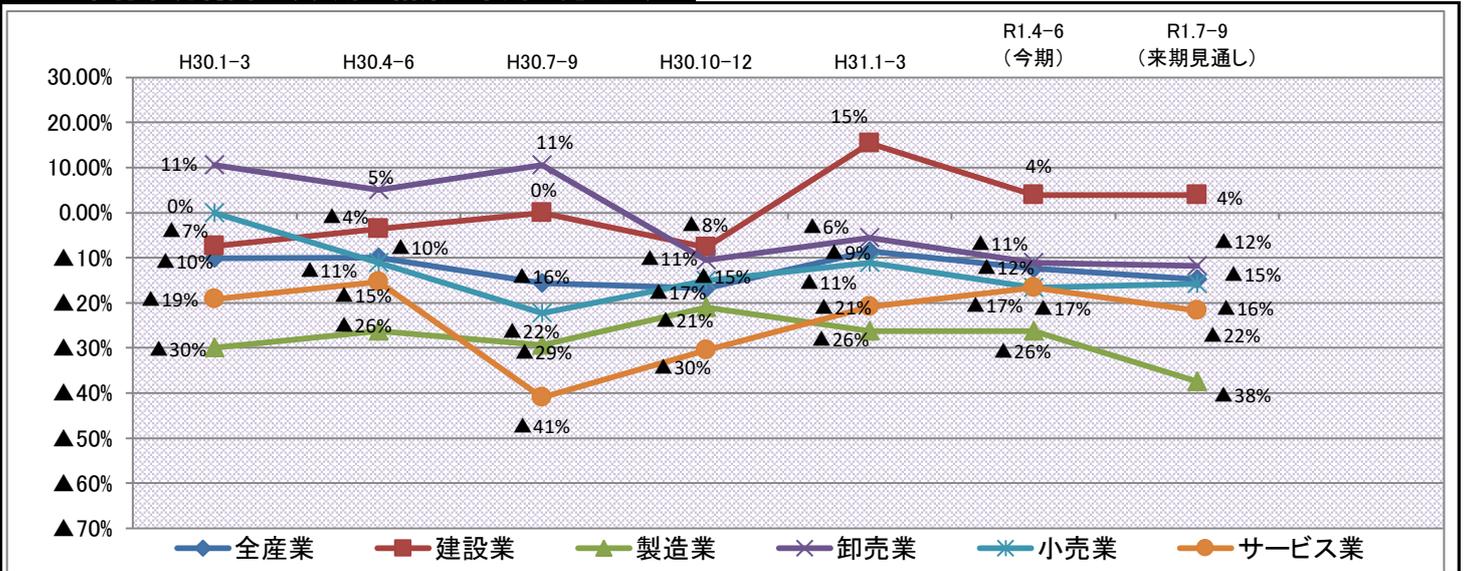
DATE

- 調査期間: 2019年6月25日～7月5日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業135社
- 有効回答企業数: 107社(79%)

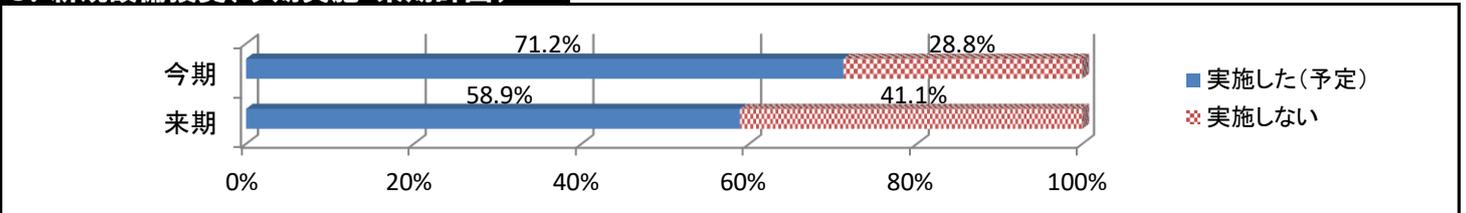
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲10.5%	▲1.9%	▲6.6%	1.02%	▲3.8%	▲1.0%	▲19.8%	▲2.7%	▲5.7%	2.86%
建設業	0.0%	▲15.4%	0.00%	▲15.4%	7.14%	▲4.4%	▲10.7%	▲18.4%	0.00%	11.54%
製造業	▲25.0%	1.32%	▲17.6%	13.93%	0.00%	▲10.5%	▲29.4%	▲3.1%	▲17.6%	▲7.1%
卸売業	▲5.3%	0.29%	▲10.5%	▲38.3%	10.53%	4.97%	▲5.3%	0.29%	15.79%	4.68%
小売業	▲15.8%	▲4.7%	0.00%	16.67%	▲26.3%	▲4.1%	▲26.3%	▲4.1%	▲11.1%	0.00%
サービス業	▲13.0%	7.79%	▲8.7%	24.64%	▲13.0%	7.79%	▲30.4%	11.23%	▲17.4%	▲0.7%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 25.3%	需要の停滞 19.6%	従業員の確保難 24.5%	消費者ニーズの変化への対応 14.6%	人件費以外の費用の増加 16.4%
2位	熟練技術者の確保難 19.0%	従業員の確保難 17.4%	需要の停滞 16.3%	仕入単価の上昇 12.7%	従業員の確保難 16.4%
3位	下請業者の確保難 15.2%	原材料価格の上昇 15.2%	仕入単価の上昇 12.2%	従業員の確保難 12.7%	人件費の増加 14.8%
4位	官公需要の停滞 11.4%	人件費の増加 10.9%	大企業の進出による競争の激化 8.2%	購買力の他地域への流出 9.1%	利用者ニーズの変化への対応 9.8%